

市政トピックス

✓ 上越市地域活性化起業人を選任しました



国の地域活性化企業人制度を活用し、上越市地域活性化起業人として、(株)阪急交通社から上羽亮^{うえぼりょう}さんの派遣を受けることとなり、7月14日、村山市長が選任書を交付しました。

上羽さんは「コロナ収束後、旅行形態も変わってくると思うが、今までの常識に囚われずに取り組みたい。全国に拠点のある(株)阪急交通社のネットワークも駆使していく」と抱負を語りました。

村山市長は「コロナ後を見据え、佐渡航路を生かした誘客にも力を入れてほしい」と激励しました。

上羽さんは(公社)上越観光コンベンション協会の誘客宣伝課長として、3年間、市内事業者によるプログラム開発、プロモーションの強化などの業務にあたります。



✓ 「メイドイン上越」4品4事業者を認証しました

7月16日、市内の中小企業者などが開発・製造した優れた工業製品や特産品を認証する「メイド・イン上越」の令和3年度認証書交付式を開催しました。新たに認証されたのは、(写真左から)有町田醤油味噌醸造場の「唐辛子醤油」、苺の花ことばの「越後姫バター」、有沢総業(株)の「アリサワ・リフレクションスノーポール「レルヒ」」、日鉄工材(株)の「チタン製電着ドラム」です。



メイド・イン上越
ホームページ

村山市長は、「日々研鑽されている、その努力が認証へとつながった。ものづくりの技術をさらに磨き、発信してください」と話しました。



✓ 吉川区川谷地域に地域おこし協力隊が着任しました

8月2日、吉川区川谷地区で中山間地の棚田を守り、地域の活性化に取り組む「地域おこし協力隊」として、神奈川県茅ヶ崎市から宇野拓朗^{うのたろう}さんが着任し、村山市長から辞令交付を受けました。

宇野さんは「移住、農業の先輩方が地域にいて、師匠として教えてくれるので頼もしい。まずは基本を学び、耕作放棄地を田んぼや畑にし、維持管理していくことを目標に頑張りたい。いずれは狩猟免許も取って、ジビエの特産品も作れたら」と語りました。

村山市長は「今までとは違う環境の中で楽しさや良いところを見つけ、地域の皆さんに溶け込んで頑張ってください」と激励しました。

